

江戸川区
家庭ごみ組成分析調査報告書

平成28年3月

江戸川区

【目 次】

第1章 調査概要.....	1
1 調査目的	1
2 調査背景	1
3 調査対象地域と調査日程	1
4 調査方法	2
5 調査したごみ量	3
6 組成調査の分類と定義	3
7 注意事項	5
第2章 調査結果.....	6
1 組成割合	6
(1)燃やすごみ	6
(2)燃やさないごみ	9
(3)容器包装プラスチック	11
2 分別不適物	14
(1)燃やすごみ	14
(2)燃やさないごみ	15
(3)容器包装プラスチック	16
3 排出容器別のごみ重量と利用割合	17
(1)燃やすごみ	17
(2)燃やさないごみ	18
(3)容器包装プラスチック	19
4 反転コンテナ・角型容器1杯あたりの重量	20
第3章 小型家電の分析.....	21
1 調査目的	21
2 調査結果	21
第4章 考察.....	24
1 過去の調査との比較	24
(1)燃やすごみ	24
(2)燃やさないごみ	25
(3)容器包装プラスチック	26
2 ごみ減量の可能性	27
3 今後の課題	29

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査は、家庭から排出される燃やすごみ、燃やさないごみ、容器包装プラスチックについて組成割合を調査し、家庭ごみの性状を把握するとともに、さらなるごみ減量とリサイクル推進のための基礎資料とすることを目的としています。

また、平成25年4月の使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律の施行に伴い、燃やさないごみに含まれる小型家電製品の割合と品目を把握することを目的としています。

2 調査背景

江戸川区では、平成20年4月から容器包装プラスチックの再資源化と埋立処分場の延命化を目的に、再生資源としてリサイクルできるプラスチックと清掃工場で熱エネルギー源として利用するプラスチックに分別を変更しました。

平成25年4月からは、収集した粗大ごみの中から家電製品や金属系の粗大ごみを選別して、適正に再資源化できる業者に引き渡し、鉄やアルミ、金・銀・銅などの有用金属をリサイクルする取り組みを始めました。

3 調査対象地域と調査日程

燃やすごみと容器包装プラスチックについては、経年的な変化を把握するため、過去の調査と同じ地域とし、燃やさないごみについては、前年度に引き続き葛西清掃事務所管内としました。

小岩清掃事務所管内からは一戸建て中心の地域として東小岩を、葛西清掃事務所小松川分室管内からは一戸建て・低層集合住宅混在地域として平井を、葛西清掃事務所管内からは高層集合住宅地域として南葛西を選定しました。

表1-1 対象地域と調査日程

調査日	曜日	ごみ種	場所
11月9日	月曜日	燃やすごみ	平井1・2丁目
11月10日	火曜日	容プラ	平井1・2丁目
		燃やすごみ	東小岩2～6丁目
11月11日	水曜日	容プラ	東小岩2～6丁目
11月12日	木曜日	容プラ	南葛西5・6丁目
11月13日	金曜日	燃やすごみ	南葛西5・6丁目

(注) 燃やさないごみは、11月9日～14日に葛西清掃事務所が収集した。

4 調査方法

ごみ集積所から収集したごみを葛西清掃事務所に搬入し、次の手順で調査しました。なお、事業系有料ごみ処理券が貼付してあるごみなど、明らかに事業系とわかるごみは対象から除きました。

- (1) ごみを入れた容器(容量表示のある袋やレジ袋など)を種類ごとに分類し、それぞれの重量と個数を記録しました。

写真1-1 ごみを入れた容器の計量



写真1-2 ごみの分類

- (2) ごみを入れた容器のまま、大規模集合住宅のごみ・資源の保管場所で使用されている反転コンテナボックス(以下「反転コンテナ」といいます。)と同じ大きさの箱に入れ、反転コンテナ1杯あたりの重量を測定しました。燃やさないごみは90リットルの角型容器で1杯あたりの重量を測定しました。



写真1-3 分類したごみの計量

- (3) ごみを表1-3に示す45種類(燃やすごみは46種類)に分類し、それぞれの重量を測定しました。



5 調査したごみ量

組成調査では、燃やすごみ1,940.63kg、燃やさないごみ1,963.84kg、容器包装プラスチック196.71kgを調査しました。

表1-2 サンプル量

単位 (kg)

	東小岩地域	平井地域	南葛西地域	合計
燃やすごみ	620.37	681.96	638.30	1,940.63
容器包装プラスチック	66.29	63.96	66.46	196.71
燃やさないごみ(注)	葛西清掃事務所管内で1,963.84kg			

(注) 燃やすごみだけが入ったごみ袋86.51kgについては重量のみを測定し、分析はしませんでした。

6 組成調査の分類と定義

燃やすごみ、燃やさないごみ、容器包装プラスチック共通として、表1-3のように資源物12品目(紙類7品目、びん・缶・ペットボトル5品目)、容器包装プラスチック7品目、可燃物15品目、不燃物8品目(有害・危険物5品目、その他3品目)、外袋3品目、合計45品目に分類しました。

これを基本とし、燃やすごみにおいては、容器包装プラスチック(汚れた状態)を水でさっと流して汚れの落とせるものと落とせないものに分類したので、可燃物16品目、合計46品目としました。

また、容器包装プラスチックでは、レジ袋を「中身あり」「中身なし」とに分類し、ともに資源物(容器包装プラスチック)に分類したので、容器包装プラスチック8品目、可燃物14品目、合計45品目としました。

外袋とは、ごみを排出するために使用した袋のことです。

表1-3 組成調査の分類

分類	品目	注意点・含むもの	含まないもの	
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	他用途に使ってない新聞紙	新聞に入る広告・チラシ→折込広告
		折込広告	新聞に入る広告・チラシ	ポスト投込のチラシ→その他紙類（リサイクル可）
		雑誌・本	パンフレット、カタログ（４Ｐ以上のもの）	
		段ボール	断面が段々になっている	ボール紙→その他紙類（リサイクル可）
		紙パック	１リットルの牛乳・ジュースの紙パック	ロがブラの酒パック→容器包装紙類（リサイクル不可）
		容器包装紙類（リサイクル可）	（紙だけの）包装紙、紙箱、紙袋、紙容器、１リットル以外の山型の紙パック	汚れているもの、ブラ・アルミのコーティングあり→容器包装紙類（リサイクル不可）
		その他紙類（リサイクル可）	（きれいな）投げ込みのチラシ、ＯＡ用紙、ノート、ボール紙、封筒、はがき	汚れたもの、はがきより小さいもの→その他紙類（リサイクル不可）
	ペットボトル・缶	リターナブルびん	一升びん、ビールびん（大中小、スタイニーボトル）	
		ワンウェイびん	一升以外の酒、ワイン、ジュース、ジャムのびん	食用・飲用以外のびん（化粧品等）、油のびん→その他不燃物
		飲用・食用スチール缶	ペットフードの缶含む	飲用・食用以外の缶、油の缶、一斗缶より大きい缶→その他金属
		飲用・食用アルミ缶	ペットフードの缶含む	飲用・食用以外の缶、油の缶、一斗缶より大きい缶→その他金属
		ペットボトル	「PET」表示あり、飲料、醤油等のみ	「PET」表示なし、飲料・食用以外→ボトル容器
	容器包装プラスチック	食品トレイ	スーパーなどで肉や魚、野菜がのっているトレイ	納豆パック→カップ・パック類
		ボトル容器	シャンプー、洗剤	
		カップ・パック容器	弁当ガラ、苺のパック、乳酸飲料容器、ヨーグルト、プリン、カップ麺、豆腐容器	
		レジ袋（中身なし）	レジ袋で利用されずに出されているもの	
		キャップ類	ペットボトルやインスタントコーヒーのふた	
		フィルム容器	透明なお菓子の袋、野菜の袋、ペットボトルの外装	
		保護材	発泡スチロール、果物の緩衝材など各種緩衝材・保護材	
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	ごみを包む、何かを拭くなどに使った新聞紙	
		容器包装紙類（リサイクル不可）	カップ麺の紙容器・フタ、紙トレイ、紙カップ、200mlなどの四角い紙パック、ロがブラの酒パック	
		その他紙類（リサイクル不可）	紙おむつ、カーボン紙、紙くず、ちり紙、伝票・レシート、カーボン紙	
	布類	布類		
	生ごみ	生ごみ（厨芥類）	調理くず、野菜くず、食べ物の残り	
		生ごみ（未利用品）	未開封（賞味・消費期限切れ）の食品、手つかずの食品	
	草木類・	木・草類	割り箸、竹串、コルク、庭木・落ち葉・草、生花	
	ゴム・プラスチック・皮革類	チューブ容器	マヨネーズ、歯磨き	
		レジ袋（中身あり）（注1）	ごみの小袋（内袋）として利用されているもの	
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	ポテトチップスの袋、カップ麺のフタ、錠剤の包装、レトルトパックなど銀色のもの	
		容器包装プラスチック（注2）（落とせる汚れ：燃やすごみ）	水でさっと流しただけで落とせそうなもの	
		容器包装プラスチック（注2）（落とせない汚れ：燃やすごみ）	水でさっと流しただけでは落とせそうもないもの	
		製品プラスチック類	歯ブラシ、おもちゃ、バケツ、ビデオテープ、レースのカーテン	金属との複合物→その他不燃物
		ゴム・皮革類		ビニール製靴・バッグ→製品プラスチック類

分類	品目	注意点・含むもの	含まないもの
可燃物	医療系		
	その他可燃	タバコの吸殻、油を固めたもの、掃除機のごみ、脱脂綿、ガーゼ、包帯、生理用品、猫砂、ぬいぐるみ、枕、カーテン、足拭きマット、インクリボン・カートリッジ、乾燥剤、クレヨン、湿布薬	
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	スプレー缶、コンロ用カセットボンベ
		乾電池	
		蛍光管	
		ライター	
		水銀含有物	
	その他	その他金属	飲用・食用以外の缶（スプレー、塗料、オイル）、一斗缶より大きい缶、アルミホイル、なべ
		小型家電	アイロン、電気炊飯器、ポット、トースターなど30センチ未満の小型家電
		その他不燃物	飲用・食用以外のびん（化粧品等）、びん以外のガラス、電球、使い捨てカイロ、土石、かさ、複合品、薬
外袋 (注3)	プラスチック袋		推奨袋、透明・半透明・不透明袋
	レジ袋		
	紙袋		

(注1) レジ袋（中身あり）は、燃やすごみと燃やさないごみでは可燃物（分類）、容器包装プラスチックでは容器包装プラスチック（分類）として集計します。

(注2) 燃やすごみでは、水でさっと流して汚れが落とせるものと落とせないものに分類します。

(注3) 外袋とは、ごみを排出するために使用されていた袋のことです。

容器包装プラスチックについては、きれいなものと汚れているものに分類し、汚れているものは可燃物として分類しました。

表1-4 容器包装プラスチックの汚れの基準

水でさっと流して汚れが落とせるもの	
	醤油・ケチャップなどの水溶性のものが付着したもの
	のり、フライかすなどの粉状・固形状のものが付着したもの
	お茶殻など、他のごみが付着したもの
	ヨーグルトが付着したもの
水でさっと流して汚れが落とせないもの	
	カップ焼きそばなどのソースが付着したもの
	油・カレー・ドレッシングなど油性のものが付着したもの
	のりの佃煮やみたらし団子のたれのような粘着性のあるものが付着したもの
	味噌、納豆、マーガリン、バターが付着したもの
	カレーの色が付着したカップラーメンの容器
	紅ショウガや漬け物などが入ったフィルム状のもの
	蒲焼きのたれ、ソース、醤油など付着した小さなフィルム状のもの
	肉汁が染みついたラップ

7 注意事項

報告書中の合算値は、四捨五入の関係上、合計値と一致しないものがあります。

第2章 調査結果

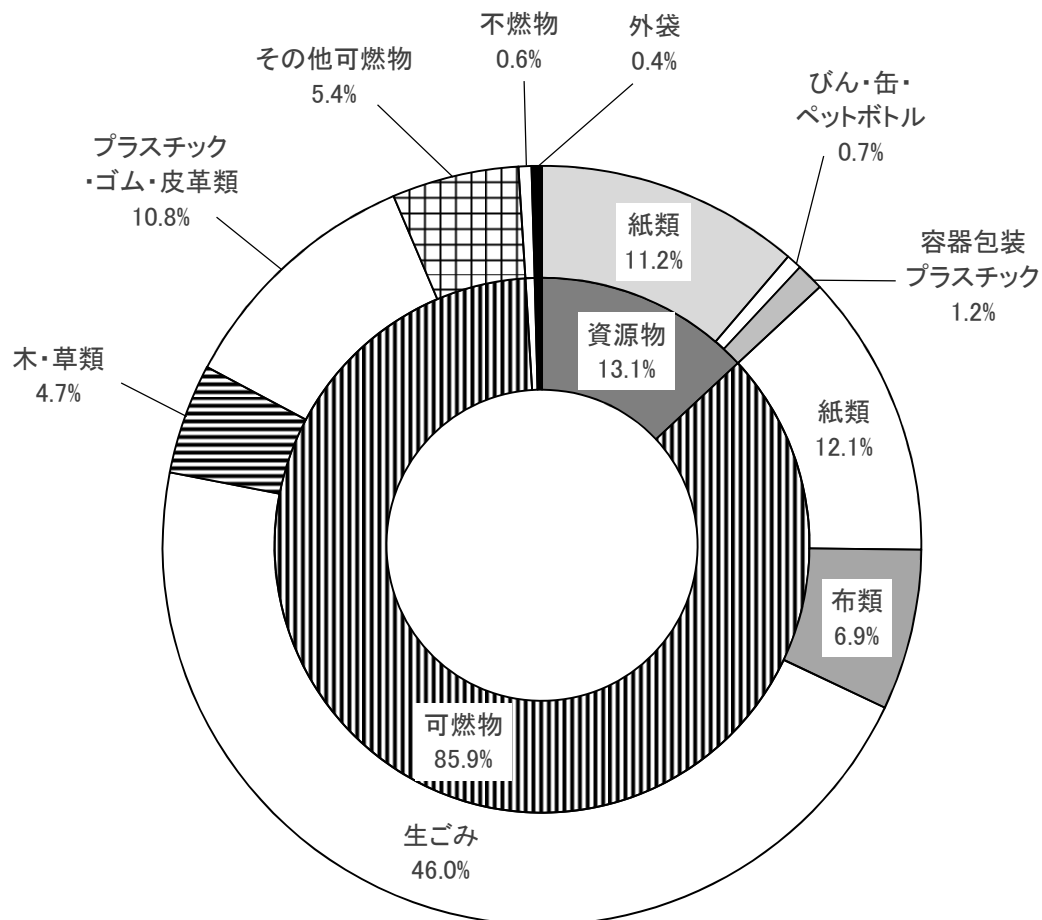
1 組成割合

(1) 燃やすごみ

燃やすごみでは、可燃物が85.9%、資源物が13.1%、不燃物が0.6%、外袋が0.4%となっています。分別が適正なものは、可燃物と外袋で合計86.4%、不適正なものは資源物と不燃物で13.6%です。

可燃物の内訳は、生ごみが46.0%で最も多く、次いで、紙類が12.1%、プラスチック・ゴム・皮革類が10.8%、布類が6.9%、木・草類が4.7%、その他可燃物が5.4%です。

図2-1 燃やすごみの組成割合



(注) 構成比(%)の合算値は四捨五入の関係上100%にならないことがあります。

表2-1 燃やすごみの組成重量

単位 (kg)

大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	5.38	3.97	5.65	15.00
		折込広告	0.88	3.22	3.67	7.77
		雑誌・本	13.10	17.82	19.73	50.65
		段ボール	5.17	6.10	13.78	25.05
		紙パック	1.83	2.28	2.42	6.53
		容器包装紙類（リサイクル可）	15.30	12.64	15.98	43.92
		その他紙類（リサイクル可）	12.81	22.44	33.95	69.20
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん	0.00	0.00	0.00	0.00
		ワンウェイびん	0.62	0.87	0.72	2.21
		飲用・食用スチール缶	0.04	0.80	0.39	1.23
		飲用・食用アルミ缶	1.03	0.22	0.20	1.45
		ペットボトル	2.84	3.07	2.10	8.01
	容器包装プラスチック	食品トレイ	0.79	0.60	1.74	3.13
		ボトル容器	0.83	0.76	1.73	3.32
		カップ・パック容器	2.62	1.98	0.60	5.20
		レジ袋（中身なし）	0.84	0.95	1.14	2.93
		キャップ類	0.05	0.05	0.00	0.10
		フィルム容器	2.28	2.13	2.75	7.16
		保護材	0.40	0.42	0.12	0.94
	可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	1.55	3.34	3.60
容器包装紙類（リサイクル不可）			4.23	5.90	5.90	16.03
その他紙類（リサイクル不可）			61.28	49.39	99.92	210.59
布類		45.20	49.51	38.28	132.99	
生ごみ		生ごみ（未利用品）	8.50	20.46	10.90	39.86
		生ごみ（その他）	301.15	295.64	256.76	853.55
木・草類		21.62	49.85	19.66	91.13	
プラスチック		チューブ容器	0.18	0.53	0.86	1.57
		レジ袋（中身あり）	1.56	1.98	1.53	5.07
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	2.33	2.27	2.86	7.46
		容器包装プラスチック（落とせる汚れ）	27.35	24.49	18.80	70.64
		容器包装プラスチック（落とせない汚れ）	9.82	9.69	22.08	41.59
		製品プラスチック類	16.65	28.62	12.81	58.08
ゴム・皮革類		10.18	12.66	2.75	25.59	
その他可燃物	医療系	0.00	2.13	0.00	2.13	
	その他可燃物	37.86	35.47	29.36	102.69	
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	0.09	0.42	0.19	0.70
		乾電池	0.14	0.00	0.09	0.23
		蛍光灯	0.00	0.00	0.36	0.36
		ライター	0.00	0.08	0.02	0.10
		水銀含有物	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他不燃物	その他金属	0.05	1.22	1.05	2.32
		小型家電	0.41	1.45	0.96	2.82
		その他不燃物	0.26	3.69	0.25	4.20
外袋	プラスチック袋		2.03	1.97	1.59	5.59
	レジ袋		1.12	0.88	1.05	3.05
	紙袋		0.00	0.00	0.00	0.00
合計			620.37	681.96	638.30	1,940.63

資源物（紙類）	54.47	68.47	95.18	218.12
資源物（びん・缶・ペットボトル）	4.53	4.96	3.41	12.90
資源物（容器包装プラスチック）	7.81	6.89	8.08	22.78
可燃物	549.46	591.93	526.07	1,667.46
不燃物	0.95	6.86	2.92	10.73
外袋	3.15	2.85	2.64	8.64

(注) 各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。

表2-2 燃やすごみの組成割合

大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	0.9%	0.6%	0.9%	0.8%
		折込広告	0.1%	0.5%	0.6%	0.4%
		雑誌・本	2.1%	2.6%	3.1%	2.6%
		段ボール	0.8%	0.9%	2.2%	1.3%
		紙パック	0.3%	0.3%	0.4%	0.3%
		容器包装紙類（リサイクル可）	2.5%	1.9%	2.5%	2.3%
		その他紙類（リサイクル可）	2.1%	3.3%	5.3%	3.6%
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		ワンウェイびん	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
		飲用・食用スチール缶	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%
		飲用・食用アルミ缶	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%
		ペットボトル	0.5%	0.5%	0.3%	0.4%
	容器包装プラスチック	食品トレイ	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%
		ボトル容器	0.1%	0.1%	0.3%	0.2%
		カップ・パック容器	0.4%	0.3%	0.1%	0.3%
		レジ袋（中身なし）	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
		キャップ類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		フィルム容器	0.4%	0.3%	0.4%	0.4%
		保護材	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	0.2%	0.5%	0.6%	0.4%
		容器包装紙類（リサイクル不可）	0.7%	0.9%	0.9%	0.8%
		その他紙類（リサイクル不可）	9.9%	7.2%	15.7%	10.9%
	布類		7.3%	7.3%	6.0%	6.9%
	生ごみ	生ごみ（未利用品）	1.4%	3.0%	1.7%	2.1%
		生ごみ（その他）	48.5%	43.4%	40.2%	44.0%
	木・草類		3.5%	7.3%	3.1%	4.7%
	プラスチック	チューブ容器	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%
		レジ袋（中身あり）	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	0.4%	0.3%	0.4%	0.4%
		容器包装プラスチック（落とせる汚れ）	4.4%	3.6%	2.9%	3.6%
		容器包装プラスチック（落とせない汚れ）	1.6%	1.4%	3.5%	2.1%
		製品プラスチック類	2.7%	4.2%	2.0%	3.0%
ゴム・皮革類		1.6%	1.9%	0.4%	1.3%	
その他可燃物	医療系	0.0%	0.3%	0.0%	0.1%	
	その他可燃物	6.1%	5.2%	4.6%	5.3%	
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
		乾電池	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		蛍光管	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
		ライター	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		水銀含有物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他不燃物	その他金属	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%
		小型家電	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%
		その他不燃物	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%
外袋		プラスチック袋	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%
		レジ袋	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%
		紙袋	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

資源物（紙類）	8.8%	10.0%	14.9%	11.2%
資源物（びん・缶・ペットボトル）	0.7%	0.7%	0.5%	0.7%
資源物（容器包装プラスチック）	1.3%	1.0%	1.3%	1.2%
可燃物	88.6%	86.8%	82.4%	85.9%
不燃物	0.2%	1.0%	0.5%	0.6%
外袋	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%

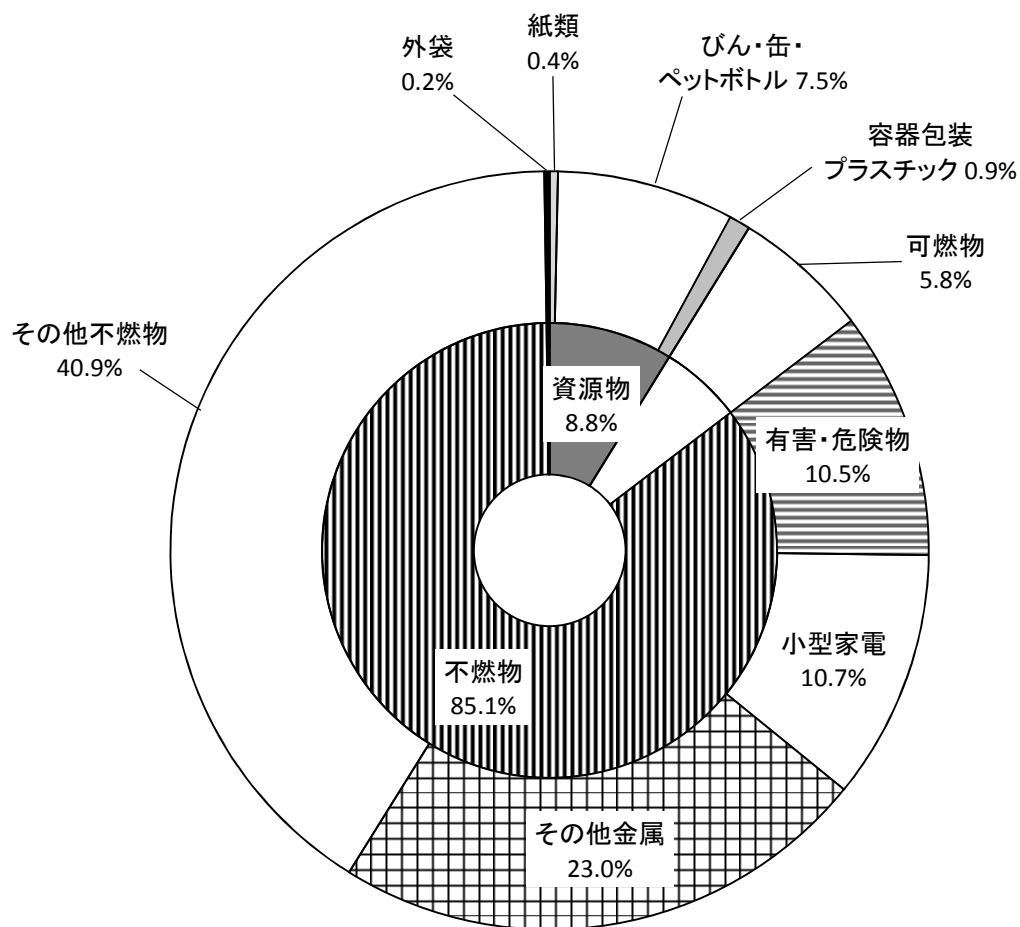
（注）構成比（%）の合算値は四捨五入の関係上、100%にならないことがあります。

(2) 燃やさないごみ

燃やさないごみでは、不燃物が85.1%、資源物が8.8%、可燃物が5.8%、外袋が0.2%となっています。分別が適正なものは、不燃物と外袋で合計85.4%、不適正なものは資源物と可燃物で14.6%です。

不燃物の内訳は、その他金属が23.0%、小型家電が10.7%、有害・危険物が10.5%、その他不燃物が40.9%です。

図2-2 燃やさないごみの組成割合



(注) 構成比(%)の合算値は四捨五入の関係上100%にならないことがあります。

表2-3 燃やさないごみの組成重量と割合

大分類	中分類	小分類	ごみ量(kg)	割合
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	0.00	0.0%
		折込広告	1.11	0.1%
		雑誌・本	0.00	0.0%
		段ボール	5.74	0.3%
		紙パック	0.00	0.0%
		容器包装紙類（リサイクル可）	0.10	0.0%
		その他紙類（リサイクル可）	0.08	0.0%
		びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん	0.00
	ワンウェイびん		116.53	5.9%
	飲用・食用スチール缶		25.37	1.3%
	飲用・食用アルミ缶		5.49	0.3%
	ペットボトル		0.80	0.0%
	容器包装プラスチック	食品トレイ	0.15	0.0%
		ボトル容器	8.43	0.4%
		カップ・パック容器	2.62	0.1%
		レジ袋（中身なし）	1.23	0.1%
		キャップ類	0.78	0.0%
		フィルム容器	3.80	0.2%
		保護材	0.88	0.0%
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	0.36	0.0%
		容器包装紙類（リサイクル不可）	1.13	0.1%
		その他紙類（リサイクル不可）	1.85	0.1%
		布類		2.72
	生ごみ	生ごみ（未利用品）	6.35	0.3%
		生ごみ（その他）	1.54	0.1%
	木・草類		3.25	0.2%
	プラスチック	チューブ容器	0.64	0.0%
		レジ袋（中身あり）	2.46	0.1%
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	0.18	0.0%
		容器包装プラスチック（汚れた状態）	5.89	0.3%
		製品プラスチック類	63.85	3.3%
	ゴム・皮革類		11.72	0.6%
	その他可燃物	医療系	0.00	0.0%
		その他可燃物	12.54	0.6%
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	76.10	3.9%
		乾電池	62.42	3.2%
		蛍光管	63.30	3.2%
		ライター	5.36	0.3%
		水銀含有物	0.00	0.0%
		小型家電	209.39	10.7%
	その他不燃物	その他金属	451.85	23.0%
		その他不燃物	803.44	40.9%
外袋	プラスチック袋		0.77	0.0%
	レジ袋		2.47	0.1%
	紙袋		1.15	0.1%
合計			1,963.84	100.0%
資源物(紙類)			7.03	0.4%
資源物(びん・缶・ペットボトル)			148.19	7.5%
資源物(容器包装プラスチック)			17.89	0.9%
可燃物			114.48	5.8%
不燃物			1,671.86	85.1%
外袋			4.39	0.2%

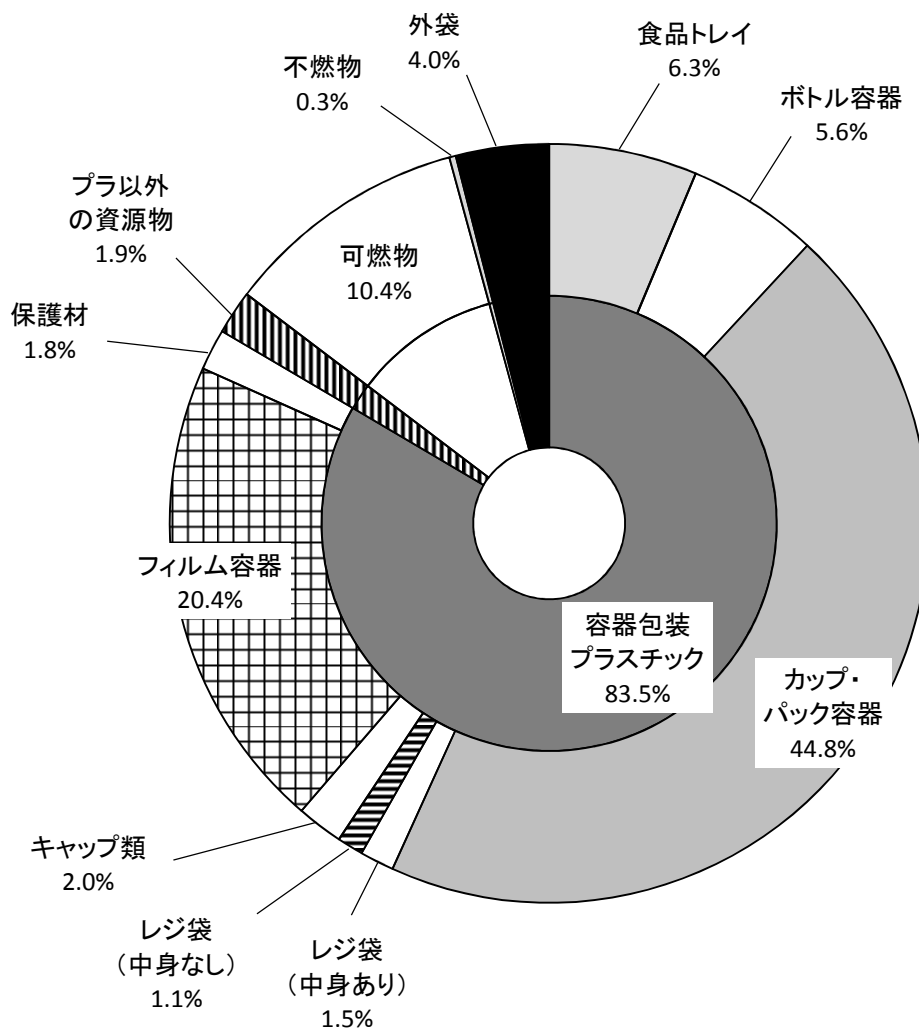
(注) 各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。

(3) 容器包装プラスチック

容器包装プラスチックでは、容器包装プラスチックが83.5%、容器包装プラスチック以外の資源物が1.9%、可燃物が10.4%、不燃物が0.3%、外袋が4.0%となっています。分別が適正なものは、容器包装プラスチックと外袋で合計87.4%、不適正なものは容器包装プラスチック以外の資源物と可燃物と不燃物で12.6%です。

容器包装プラスチックの内訳は、カップ・パック容器が44.8%、フィルム容器が20.4%、食品トレイが6.3%、ボトル容器が5.6%などの順です。

図2-3 容器包装プラスチックの組成割合



(注) 構成比 (%) の合算値は四捨五入の関係上100%にならないことがあります。

表2-4 容器包装プラスチックの組成重量

単位 (kg)

大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	0.00	0.00	0.00	0.00
		折込広告	0.00	0.00	0.06	0.06
		雑誌・本	0.00	0.00	0.00	0.00
		段ボール	0.01	0.00	0.00	0.01
		紙パック	0.00	0.00	0.00	0.00
		容器包装紙類（リサイクル可）	0.00	0.07	0.38	0.45
		その他紙類（リサイクル可）	0.00	0.05	0.00	0.05
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん	0.00	0.00	0.00	0.00
		ワンウェイびん	0.17	0.03	0.03	0.23
		飲用・食用スチール缶	0.00	0.00	0.07	0.07
		飲用・食用アルミ缶	0.07	0.04	0.06	0.17
		ペットボトル	0.54	0.97	1.11	2.62
	容器包装プラスチック	食品トレイ	3.91	3.76	4.76	12.43
		ボトル容器	2.79	4.01	4.23	11.03
		カップ・パック容器	33.21	26.96	28.05	88.22
		レジ袋（中身あり）	1.08	1.37	0.42	2.87
		レジ袋（中身なし）	0.39	1.48	0.31	2.18
		キャップ類	1.55	1.51	0.85	3.91
		フィルム容器	11.86	13.66	14.54	40.06
	保護材	1.38	1.24	0.85	3.47	
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	0.00	0.00	0.00	0.00
		容器包装紙類（リサイクル不可）	0.15	0.15	0.35	0.65
		その他紙類（リサイクル不可）	0.31	0.14	0.17	0.62
			0.00	0.03	0.00	0.03
	布類		0.00	0.03	0.00	0.03
			0.00	0.03	0.00	0.03
	生ごみ	生ごみ（未利用品）	0.00	0.15	0.04	0.19
		生ごみ（その他）	0.32	0.05	0.01	0.38
	木・草類		0.00	0.00	0.05	0.05
	プラスチック	チューブ容器	0.24	0.15	0.20	0.59
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	1.74	1.23	1.78	4.75
		容器包装プラスチック（汚れた状態）	1.34	2.09	2.39	5.82
		製品プラスチック類	2.16	1.31	2.66	6.13
	ゴム・皮革類		0.44	0.24	0.16	0.84
その他可燃物	医療系	0.00	0.00	0.00	0.00	
	その他可燃物	0.22	0.13	0.15	0.50	
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	0.00	0.00	0.00	0.00
		乾電池	0.00	0.00	0.02	0.02
		蛍光管	0.00	0.00	0.00	0.00
		ライター	0.00	0.00	0.00	0.00
		水銀含有物	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他不燃物	その他金属	0.00	0.12	0.00	0.12
		小型家電	0.19	0.09	0.09	0.37
		その他不燃物	0.00	0.03	0.00	0.03
外袋	プラスチック袋		1.05	1.52	0.51	3.08
	レジ袋		1.17	1.38	2.16	4.71
	紙袋		0.00	0.00	0.00	0.00
合計			66.29	63.96	66.46	196.71

資源物（紙類）	0.01	0.12	0.44	0.57
資源物（びん・缶・ペットボトル）	0.78	1.04	1.27	3.09
資源物（容器包装プラスチック）	56.17	53.99	54.01	164.17
可燃物	6.92	5.67	7.96	20.55
不燃物	0.19	0.24	0.11	0.54
外袋	2.22	2.90	2.67	7.79

(注) 各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。

表2-5 容器包装プラスチックの組成割合

大分類	中分類	小分類	東小岩	平井	南葛西	合計
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		折込広告	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
		雑誌・本	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		段ボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		紙パック	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		容器包装紙類（リサイクル可）	0.0%	0.1%	0.6%	0.2%
		その他紙類（リサイクル可）	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
	びん・缶・ペットボトル	リターナブルびん	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		ワンウェイびん	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%
		飲用・食用スチール缶	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
		飲用・食用アルミ缶	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
		ペットボトル	0.8%	1.5%	1.7%	1.3%
	容器包装プラスチック	食品トレイ	5.9%	5.9%	7.2%	6.3%
		ボトル容器	4.2%	6.3%	6.4%	5.6%
		カップ・バック容器	50.1%	42.2%	42.2%	44.8%
		レジ袋（中身あり）	1.6%	2.1%	0.6%	1.5%
		レジ袋（中身なし）	0.6%	2.3%	0.5%	1.1%
		キャップ類	2.3%	2.4%	1.3%	2.0%
		フィルム容器	17.9%	21.4%	21.9%	20.4%
		保護材	2.1%	1.9%	1.3%	1.8%
可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		容器包装紙類（リサイクル不可）	0.2%	0.2%	0.5%	0.3%
		その他紙類（リサイクル不可）	0.5%	0.2%	0.3%	0.3%
	布類		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	生ごみ	生ごみ（未利用品）	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%
		生ごみ（その他）	0.5%	0.1%	0.0%	0.2%
	木・草類		0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
	プラスチック	チューブ容器	0.4%	0.2%	0.3%	0.3%
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	2.6%	1.9%	2.7%	2.4%
		容器包装プラスチック（汚れた状態）	2.0%	3.3%	3.6%	3.0%
		製品プラスチック類	3.3%	2.0%	4.0%	3.1%
	ゴム・皮革類		0.7%	0.4%	0.2%	0.4%
	その他可燃物	医療系	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他可燃物		0.3%	0.2%	0.2%	0.3%	
不燃物	有害・危険物	スプレー缶等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		乾電池	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		蛍光管	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		ライター	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		水銀含有物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他不燃物	その他金属	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%
		小型家電	0.3%	0.1%	0.1%	0.2%
		その他不燃物	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
外袋	プラスチック袋		1.6%	2.4%	0.8%	1.6%
	レジ袋		1.8%	2.2%	3.3%	2.4%
	紙袋		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
資源物（紙類）			0.0%	0.2%	0.7%	0.3%
資源物（びん・缶・ペットボトル）			1.2%	1.6%	1.9%	1.6%
資源物（容器包装プラスチック）			84.7%	84.4%	81.3%	83.5%
可燃物			10.4%	8.9%	12.0%	10.4%
不燃物			0.3%	0.4%	0.2%	0.3%
外袋			3.3%	4.5%	4.0%	4.0%

(注) 構成比(%)の合算値は四捨五入の関係上、100%にならないことがあります。

2 分別不適物

(1) 燃やすごみ

分別不適物の割合は13.6%、内訳は資源物(紙類)が11.2%、資源物(びん・缶・ペットボトル)が0.7%、資源物(容器包装プラスチック)が1.2%、不燃物(その他)が0.5%、不燃物(有害・危険物)が0.1%です。

資源物(紙類)の内訳は、その他紙類(リサイクル可)が3.6%で最も多く、次いで、雑誌・本が2.6%、容器包装紙類(リサイクル可)が2.3%、段ボールが1.3%、新聞(きれいな状態)が0.8%、折込広告が0.4%、紙パックが0.3%の順です。

表2-6 燃やすごみの分別不適物

品目	割合
資源物(紙類)	11.2%
その他紙類(リサイクル可)	3.6%
雑誌・本	2.6%
容器包装紙類(リサイクル可)	2.3%
段ボール	1.3%
新聞(きれいな状態)	0.8%
折込広告	0.4%
紙パック	0.3%
資源物(びん・缶・ペットボトル)	0.7%
資源物(容器包装プラスチック)	1.2%
不燃物(有害・危険物)	0.1%
不燃物(その他)	0.5%
合計	13.6%

(注) 割合(%)の合算値は四捨五入の関係上、
合計値と合わないことがあります。

(2) 燃やさないごみ

分別不適物の割合は14.6%、内訳は資源物(紙類)が0.4%、資源物(びん・缶・ペットボトル)が7.5%、資源物(容器包装プラスチック)が0.9%、可燃物が5.8%です。

資源物(びん・缶・ペットボトル)は、ワンウェイびんが5.9%、飲用・食用スチール缶が1.3%、アルミ缶が0.3%の順です。

表2-7 燃やさないごみの分別不適物

品目	割合
資源物(紙類)	0.4%
資源物(びん・缶・ペットボトル)	7.5%
ワンウェイびん	5.9%
飲用・食用スチール缶	1.3%
飲用・食用アルミ缶	0.3%
ペットボトル	0.0%
リターナブルびん	0.0%
資源物(容器包装プラスチック)	0.9%
可燃物	5.8%
合計	14.6%

(注) 割合(%)の合算値は四捨五入の関係上、
合計値と合わないことがあります。

(3) 容器包装プラスチック

分別不適物の割合は12.6%、内訳は資源物(紙類)が0.3%、資源物(びん・缶・ペットボトル)が1.6%、可燃物が10.4%、不燃物(その他)が0.3%です。

資源物(びん・缶・ペットボトル)は、ペットボトルが1.3%を占めています。可燃物は、製品プラスチック類が3.1%、容器包装プラスチック(汚れた状態)が3.0%などの順です。

表2-8 容器包装プラスチックの分別不適物

品目	割合
資源物(紙類)	0.3%
資源物(びん・缶・ペットボトル)	1.6%
ペットボトル	1.3%
ワンウェイびん	0.1%
飲用・食用アルミ缶	0.1%
飲用・食用スチール缶	0.0%
リターナブルびん	0.0%
可燃物	10.4%
製品プラスチック類	3.1%
容器包装プラ(汚れた状態)	3.0%
その他	4.4%
不燃物(有害・危険物)	0.0%
不燃物(その他)	0.3%
合計	12.6%

(注) 割合(%)の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。

3 排出容器別のごみ重量と利用割合

(1) 燃やすごみ

燃やすごみの排出容器の平均重量は2.75kgで、容量表示のある袋が3.71kg、レジ袋が1.31kg、透明・半透明袋が3.54kg、紙袋が1.33kgです。利用割合は、個数ベースで容量表示のある袋が19.6%、レジ袋が37.0%、透明・半透明袋が43.3%、紙袋が0.1%、重量ベースで容量表示のある袋が26.4%、レジ袋が17.6%、透明・半透明袋が55.9%、紙袋が0.1%です。

表2-9 燃やすごみの排出容器別のごみ重量と利用割合

		個数		重量		容器1個あたりの重量 (kg/個)
		個数	割合	重量 (kg)	割合	
容量表示 のある袋	20リットル	1	0.1%	1.75	0.1%	1.75
	30リットル	5	0.7%	14.52	0.8%	2.90
	45リットル	123	17.6%	458.21	23.8%	3.73
	70リットル	8	1.1%	33.53	1.7%	4.19
	小計	137	19.6%	508.01	26.4%	3.71
レジ袋		259	37.0%	338.70	17.6%	1.31
透明・半透明袋		303	43.3%	1,073.91	55.9%	3.54
紙袋		1	0.1%	1.33	0.1%	1.33
合計		700	100.0%	1,921.95	100.0%	2.75

(注) 各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。
排出容器の平均重量は、バラで排出されたものは除いて算定しています。

(2) 燃やさないごみ

燃やさないごみの排出容器の平均重量は1.03kgで、容量表示のある袋が3.77kg、レジ袋が0.86kg、透明・半透明袋が3.09kg、紙袋が1.83kgです。利用割合は、個数ベースで容量表示のある袋が4.0%、レジ袋が92.8%、透明・半透明袋が2.0%、紙袋が1.3%、重量ベースで容量表示のある袋が14.4%、レジ袋が77.4%、透明・半透明袋が5.9%、紙袋が2.3%です。

表2-10 燃やさないごみの排出容器別のごみ重量と利用割合

		個数		重量		容器1個あたりの重量 (kg/個)
		個数	割合	重量 (kg)	割合	
容量表示 のある袋	20リットル	1	0.1%	2.55	0.3%	2.55
	30リットル	3	0.4%	8.30	1.1%	2.77
	45リットル	21	3.0%	76.48	10.5%	3.64
	70リットル	3	0.4%	18.19	2.5%	6.06
	小計	28	4.0%	105.52	14.4%	3.77
レジ袋		655	92.8%	565.38	77.4%	0.86
透明・半透明袋		14	2.0%	43.24	5.9%	3.09
紙袋		9	1.3%	16.51	2.3%	1.83
合計		706	100.0%	730.65	100.0%	1.03

(注) 各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。
排出容器の平均重量は、バラで排出されたものは除いて算定しています。

(3) 容器包装プラスチック

容器包装プラスチックの排出容器の平均重量は0.34kgで、容量表示のある袋が0.62kg、レジ袋が0.24kg、透明・半透明袋が0.64kgです。利用割合は、個数ベースで容量表示のある袋が7.3%、レジ袋が74.4%、透明・半透明袋が18.3%、重量ベースで容量表示のある袋が13.3%、レジ袋が52.2%、透明・半透明袋が34.5%です。

表2-11 容器包装プラスチックの排出容器別のごみ重量と利用割合

		個数		重量		容器1個あたりの重量 (kg/個)
		個数	割合	重量 (kg)	割合	
容量表示 のある袋	30リットル	3	0.5%	1.37	0.7%	0.46
	45リットル	38	6.6%	23.12	11.8%	0.61
	70リットル	1	0.2%	1.54	0.8%	1.54
	小計	42	7.3%	26.03	13.3%	0.62
レジ袋		427	74.4%	101.97	52.2%	0.24
透明・半透明袋		105	18.3%	67.42	34.5%	0.64
合計		574	100.0%	195.42	100.0%	0.34

(注) 各項目の合算値は四捨五入の関係上、合計値と合わないことがあります。
排出容器の平均重量は、バラで排出されたものは除いて算定しています。

4 反転コンテナ・角型容器 1 杯あたりの重量

燃やすごみと容器包装プラスチックについては、反転コンテナ1杯あたりの重量を、燃やさないごみについては角型容器1杯あたりの重量を測定しました。

燃やすごみの反転コンテナ1杯あたりの重量は74kgです。

燃やさないごみの角型容器1杯あたりの重量は20kgです。

容器包装プラスチックの反転コンテナ1杯あたりの重量は9kgです。

表2-12 反転コンテナ及び角型容器1杯あたりの重量

ごみ種	地域	ごみ量	杯数	1 杯あたり重量
		(kg)	(杯)	(kg/杯)
燃やすごみ (反転コンテナ)	東小岩	619.83	7.2	86
	平井	670.19	9.7	69
	南葛西	631.93	9.1	69
	合計	1,921.95	26.0	74
燃やさないごみ (角型容器)	合計	1,963.84	96.0	20
容器包装プラスチック (反転コンテナ)	東小岩	65.55	8.2	8
	平井	64.05	7.1	9
	南葛西	65.82	7.3	9
	合計	195.42	22.6	9

写真2-1 反転コンテナ



写真2-2 角型容器



第3章 小型家電の分析

1 調査目的

技術革新が進んでいる家電製品や小型電気電子機器（以下、小型家電といいます。）には、高性能の基盤回路が多く使用され、レアメタルや貴金属などの有用金属が含まれています。これらは、「都市鉱山」と呼ばれ注目を集めているものの、各種リサイクル法に基づいてリサイクルをされているのは家電4品目とパソコンのみで、ほとんどの家電製品や小型家電はごみとして処理されているのが現状です。

平成25年4月に施行された使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律では、区市町村は、使用済小型家電製品を分別収集し、リサイクル業者へ引渡すよう努めなければならないこととされています。

本調査は、家庭から排出されるごみの性状を把握するほか、江戸川区において将来的に燃やさないごみに含まれる小型家電を回収し、リサイクルを検討していくための基礎データを得ることを目的として実施しました。

2 調査結果

使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律では、法律の対象となる「対象品目」と、対象品目のうち、市区町村・消費者が認定事業者に対して無償での引渡しが可能となる品目で、国が特にリサイクルをするべきと特定した「特定対象品目」が定められています。

特定対象品目は236個で81.06kg、特定対象品目以外の対象品目は102個（コード・スイッチ類を除く）で128.33kg、合計で338個、209.39kgが排出されました。

表4-1 特定対象品目の排出状況

大分類	品目	個数	重量 (kg)
情報通信機器	パソコン	7	10.84
	FAX電話機	3	9.53
	電話機	7	4.48
	ラジオ	5	0.97
	携帯電話	7	0.58
	ラジカセ	2	0.41
	ルーター	1	0.24
録画記憶装置	DVDプレーヤー	2	4.58
	デジタルカメラ	7	2.86
	ビデオカメラ	2	1.58
音響機器	イヤホン・ヘッドフォン	4	0.52
	デジタルオーディオプレーヤー	1	0.19
	CDウォークマン	1	0.18
電子辞書、電卓	電卓	10	1.39
	電子辞書	3	0.63
電子血圧計、電子体温計	血圧計	1	0.38
	体温計	3	0.06
理容用機器	ドライヤー	20	7.74
	電気かみそり	12	1.75
	ヘアアイロン	3	0.85
	電動歯ブラシ	4	0.35
懐中電灯、時計	時計	34	11.45
	懐中電灯	2	0.35
ゲーム機	据置ゲーム機・付属品	6	2.51
	携帯ゲーム機	4	1.35
これらの付属品	ACアダプター	49	10.87
	充電器	16	2.25
	リモコン	16	1.79
	マウス	4	0.38
合計		236	81.06

表4-2 特定対象品目以外の対象品目の排出状況

大分類	品目	個数	重量 (kg)
電気音響機械器具	スピーカー	2	1.73
	マイク	2	0.73
事務用電気機械器具	シュレッター	1	3.58
	電子文具	1	0.50
計量用又は測定用の電気機械器具	はかり	1	0.27
台所用電気機械器具	炊飯器	6	20.84
	ポット	6	8.18
	ミキサー	9	7.61
	電子レンジ	1	4.26
	コーヒーマーカー	3	3.61
	ホットプレート	2	2.31
	トースター	2	2.14
	ジューサー	1	1.72
	たこ焼き機	1	1.11
空調用電気機械器具	扇風機	5	9.46
	加湿器	3	4.98
	換気扇	1	1.83
	除湿器	1	0.77
衣料用又は衛生用の電気機械器具	アイロン	11	10.78
	掃除機	5	4.44
保温用電気機械器具	コタツ	2	2.69
	温風ヒーター	1	1.86
	ヒーター	1	1.41
	電気あんか	1	0.56
	電気カーペット	1	0.37
電気マッサージ器	マッサージ器	1	2.78
園芸用電気機械器具	蚊取り機	2	0.24
電気照明器具	電灯	7	5.73
	ライト	4	4.20
	ランタン	1	0.34
電子玩具及び電動式玩具	おもちゃ	3	2.76
付属品・その他	ポンプ	2	0.27
	ブザー	2	0.25
	電圧機	1	0.12
	不明	9	3.91
	コード・スイッチなど	-	9.99
合計（注）		102	128.33

（注）個数の合計にはコード・スイッチなどは除く。

第4章 考察

1 過去の調査との比較

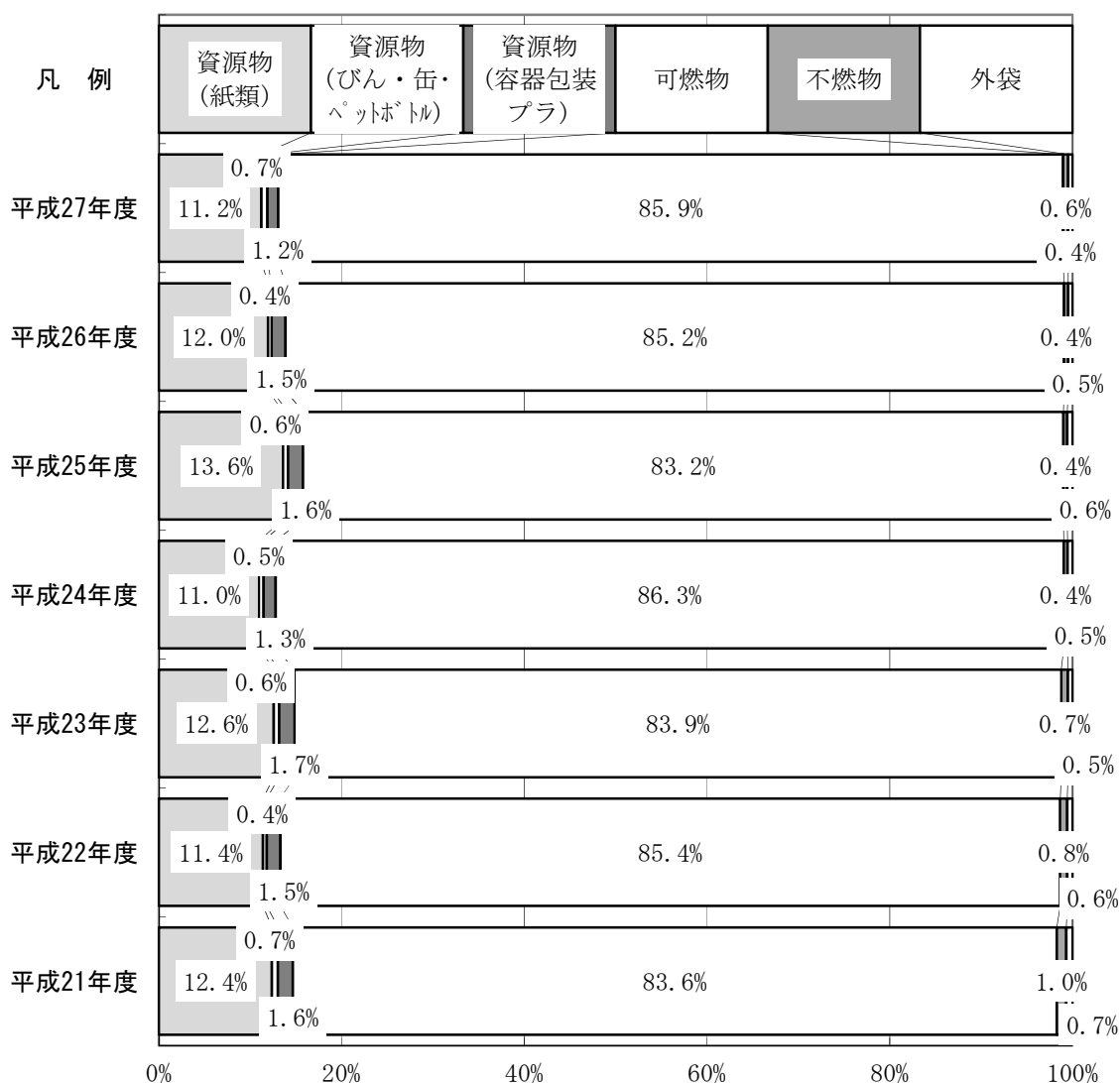
分別区分ごとの過去の調査との比較を示します。なお、文中の矢印を含む数値は、平成21年度→平成22年度→平成23年度→平成24年度→平成25年度→平成26年度→平成27年度(今回)を示しています。

(1) 燃やすごみ

燃やすごみの過去の調査との比較を示しました。可燃物は、83.6%→85.4%→83.9%→86.3%→83.2%→85.2%→85.9%で推移しています。

リサイクル可能な資源物（紙類）は、12.4%→11.4%→12.6%→11.0%→13.6%→12.0%→11.2%で、資源物（容器包装プラスチック）は1.6%→1.5%→1.7%→1.3%→1.6%→1.5%→1.2%で推移しています。

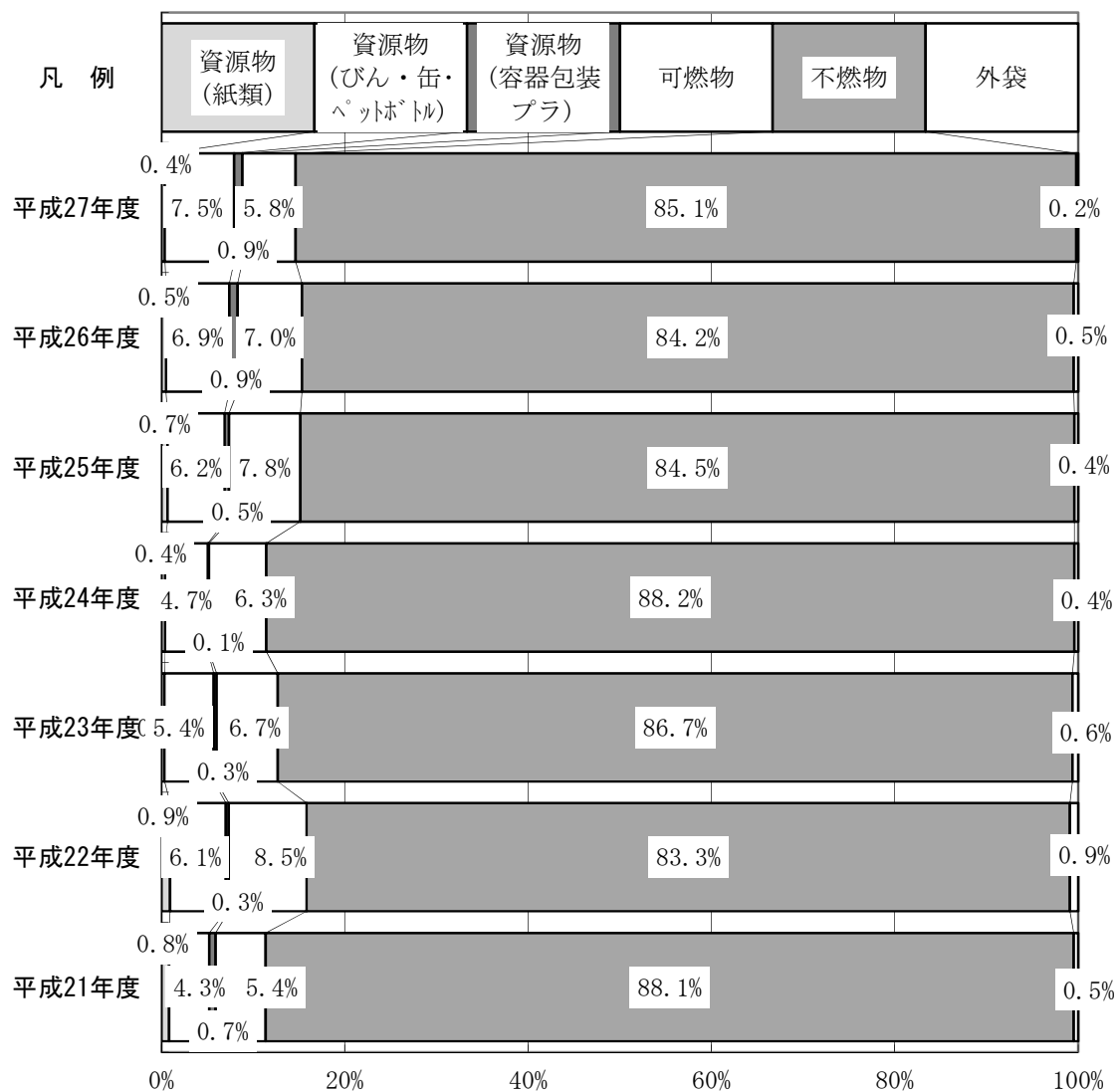
図3-1 燃やすごみの過去の調査との比較



(2) 燃やさないごみ

燃やさないごみの過去の調査との比較を示しました。不燃物は88.1%→83.3%→86.7%→84.2%→84.5%→85.1%で、可燃物は5.4%→8.5%→6.7%→6.3%→7.8%→7.0%→5.8%で推移しています。

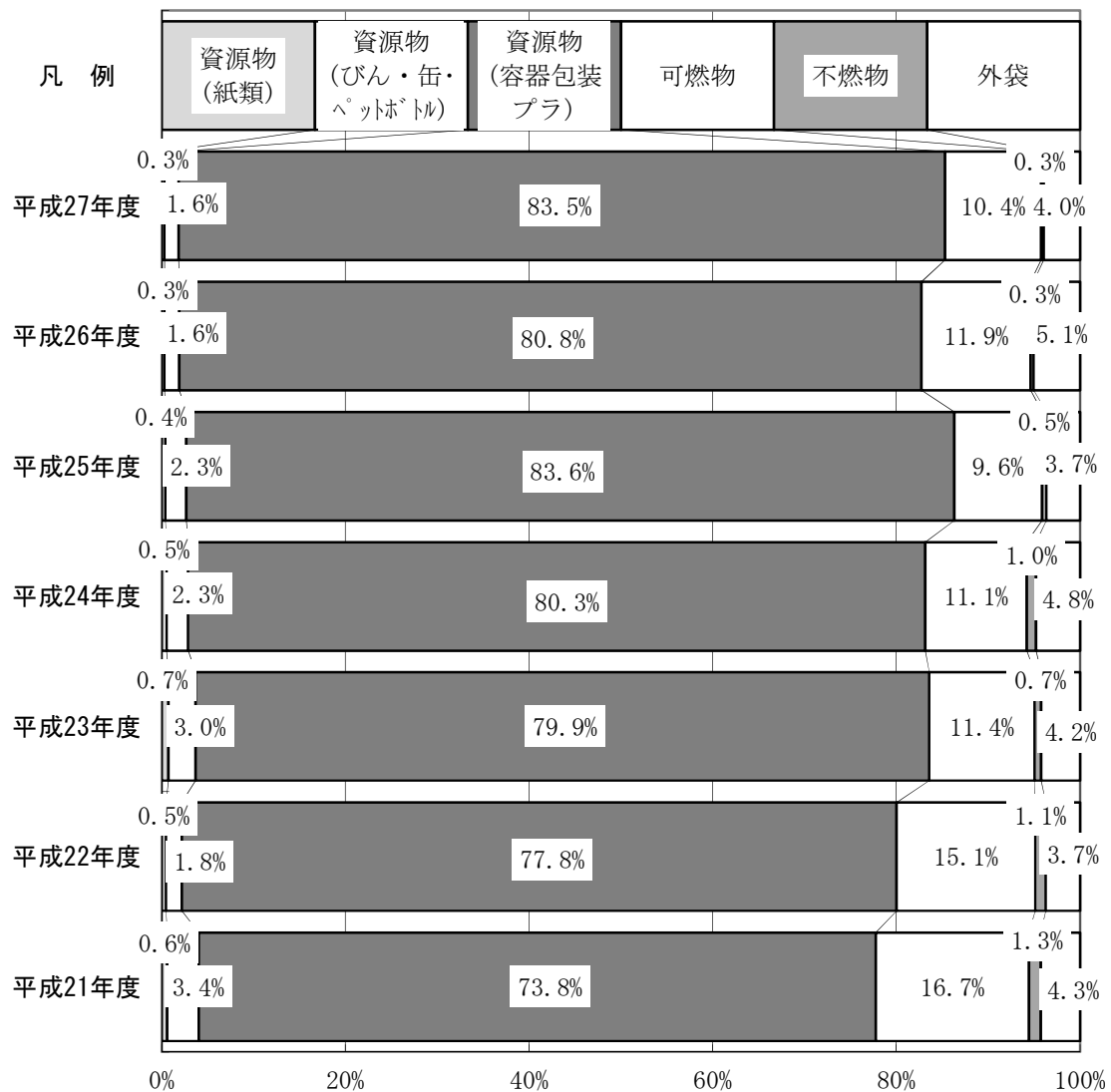
図3-2 燃やさないごみの過去の調査との比較



(3) 容器包装プラスチック

容器包装プラスチックの過去の調査との比較を示しました。資源物（容器包装プラスチック）は73.8%→77.8%→79.9%→80.3%→83.6%→80.8%→83.5%で推移しています。資源物（びん・缶・ペットボトル）は3.4%→1.8%→3.0%→2.3%→2.3%→1.6%→1.6%で、可燃物は16.7%→15.1%→11.4%→11.1%→9.6%→11.9%→10.4%で推移しています。

図3-3 容器包装プラスチックの組成の過去の調査との比較



2 ごみ減量の可能性

平成26年度及び平成27年度前半のごみ量から平成27年度のごみ量を推計しました。平成27年度のごみ量は、燃やすごみが122,369t、燃やさないごみが4,684tと推計されます。

表 3-1 平成 27 年度のごみ量推計

	実績値				単位 (t/年)
	H27前半	H26前半	H26後半	H26合計	推計値
	A	B	C	D=B+C	E=A×D÷B
燃やすごみ	62,087	62,336	60,525	122,861	122,369
燃やさないごみ	2,380	2,470	2,391	4,861	4,684

これに、分別区分ごとの組成割合を乗じることで、燃やすごみと燃やさないごみに含まれている、資源物と将来の資源化施策によって資源化が可能になると思われる潜在的な資源物〔容器包装プラスチック(落とせる汚れ)、小型家電、その他金属〕の量を推計しました。

資源物は、燃やすごみには16,004t(13.1%)、燃やさないごみには413t(8.8%)、合計で16,417t(12.9%)含まれています。内訳は、容器包装紙類が2,769t(2.3%)、その他紙類が4,363t(3.6%)で、いわゆる雑紙(ざつがみ)が約4割を占めています。紙類全体では13,754t(11.2%)です。

潜在的な資源物は、燃やすごみに4,778t(3.9%)、燃やさないごみには1,577t(33.7%)、合計で6,356t(5.0%)含まれています。内訳は、容器包装プラスチック(落とせる汚れ)が4,454t(3.5%)、小型家電が646t(0.5%)、その他金属が1,256t(1.0%)です。

表 3-2 平成 27 年度の品目別のごみ量推計

大分類	中分類	小分類	組成割合 (%)		推計量 (t/年)			
			燃やす ごみ	燃やさない ごみ	燃やす ごみ	燃やさない ごみ	合計	
資源物	紙類	新聞（きれいな状態）	0.8%	0.0%	946	0	946 (0.7%)	
		折込広告	0.4%	0.1%	490	3	493 (0.4%)	
		雑誌・本	2.6%	0.0%	3,194	0	3,194 (2.5%)	
		段ボール	1.3%	0.3%	1,580	14	1,593 (1.3%)	
		紙バック	0.3%	0.0%	412	0	412 (0.3%)	
		容器包装紙類（リサイクル可）	2.3%	0.0%	2,769	0	2,770 (2.2%)	
		その他紙類（リサイクル可）	3.6%	0.0%	4,363	0	4,364 (3.4%)	
	びん・缶・ ペット ボトル	リターナブルびん	0.0%	0.0%	0	0	0 (0.0%)	
		ワンウェイびん	0.1%	5.9%	139	278	417 (0.3%)	
		飲用・食用スチール缶	0.1%	1.3%	78	61	138 (0.1%)	
		飲用・食用アルミ缶	0.1%	0.3%	91	13	105 (0.1%)	
		ペットボトル	0.4%	0.0%	505	2	507 (0.4%)	
	容器包装 プラス チック	食品トレイ	0.2%	0.0%	197	0	198 (0.2%)	
		ボトル容器	0.2%	0.4%	209	20	229 (0.2%)	
		カップ・パック容器	0.3%	0.1%	328	6	334 (0.3%)	
		レジ袋（中身なし）	0.2%	0.1%	185	3	188 (0.1%)	
		キャップ類	0.0%	0.0%	6	2	8 (0.0%)	
		フィルム容器	0.4%	0.2%	451	9	461 (0.4%)	
		保護材	0.0%	0.0%	59	2	61 (0.0%)	
	可燃物	紙類	新聞（汚れた状態）	0.4%	0.0%	535	1	536 (0.4%)
			容器包装紙類（リサイクル不可）	0.8%	0.1%	1,011	3	1,013 (0.8%)
その他紙類（リサイクル不可）			10.9%	0.1%	13,279	4	13,283 (10.5%)	
布類			6.9%	0.1%	8,386	6	8,392 (6.6%)	
生ごみ		生ごみ（未利用品）	2.1%	0.3%	2,513	15	2,529 (2.0%)	
		生ごみ（その他）	44.0%	0.1%	53,822	4	53,825 (42.4%)	
木・草類			4.7%	0.2%	5,746	8	5,754 (4.5%)	
プラス チック		チューブ容器	0.1%	0.0%	99	2	101 (0.1%)	
		レジ袋（中身あり）	0.3%	0.1%	320	6	326 (0.3%)	
		容器包装プラスチック（アルミ蒸着）	0.4%	0.0%	470	0	471 (0.4%)	
		容器包装プラスチック（落とせる汚れ）	3.6%	—	4,454	—	4,454 (3.5%)	
		容器包装プラスチック（落とせない汚れ）	2.1%	0.3%	2,623	14	2,637 (2.1%)	
		製品プラスチック類	3.0%	3.3%	3,662	152	3,815 (3.0%)	
ゴム・皮革類			1.3%	0.6%	1,614	28	1,642 (1.3%)	
その他 可燃物		医療系	0.1%	0.0%	134	0	134 (0.1%)	
	その他可燃物	5.3%	0.6%	6,475	30	6,505 (5.1%)		
不燃物	有害・ 危険物	スプレー缶等	0.0%	3.9%	44	182	226 (0.2%)	
		乾電池	0.0%	3.2%	15	149	163 (0.1%)	
		蛍光灯	0.0%	3.2%	23	151	174 (0.1%)	
		ライター	0.0%	0.3%	6	13	19 (0.0%)	
		水銀含有物	0.0%	0.0%	0	0	0 (0.0%)	
	小型家電		0.1%	10.7%	146	499	646 (0.5%)	
	その他 不燃物	その他金属	0.1%	23.0%	178	1,078	1,256 (1.0%)	
		その他不燃物	0.2%	40.9%	265	1,916	2,181 (1.7%)	
外袋	プラスチック袋	0.3%	0.0%	352	2	354 (0.3%)		
	レジ袋	0.2%	0.1%	192	6	198 (0.2%)		
	紙袋	0.0%	0.1%	0	3	3 (0.0%)		
合計			100.0%	100.0%	122,369	4,684	127,053 (100.0%)	
資源物	紙類		11.2%	0.4%	13,754	17	13,771 (10.8%)	
	びん・缶・ペットボトル		0.7%	7.5%	813	353	1,167 (0.9%)	
	容器包装プラスチック		1.2%	0.9%	1,436	43	1,479 (1.2%)	
	合計		13.1%	8.8%	16,004	413	16,417 (12.9%)	
潜在的な資源物	容器包装プラスチック（落とせる汚れ）		3.6%	—	4,454	—	4,454 (3.5%)	
	小型家電		0.1%	10.7%	146	499	646 (0.5%)	
	その他金属		0.1%	23.0%	178	1,078	1,256 (1.0%)	
	合計		3.9%	33.7%	4,778	1,577	6,356 (5.0%)	

3 今後の課題

Edogawaごみダイエットプラン（江戸川区一般廃棄物処理基本計画）では、平成33年度の目標値として、平成12年度比でごみ量20%削減、区民一人1日あたりのごみ量649（g/人・日）、資源回収率30%を設定しています。

平成27年度前半（4月～9月）のごみ量は平成26年度前半と比べて、燃やすごみが0.4%、燃やさないごみが3.6%減少しています。人口が増加しているにもかかわらず、ごみ量が横ばいあるいは減少しているのは、区民のごみ減量への意識が向上し、発生抑制や分別収集への協力が進んだ結果と考えられます。しかし、ダイエットプランの目標値を達成するためには、今後さらなる取り組みが必要です。

前年度調査と比較して、燃やすごみ、燃やさないごみ、容器包装プラスチックの分別は良くなっています。

ごみの中には、資源物が16,417t（12.9%）、将来の資源化施策によって資源化が可能になると思われる潜在的な資源物が6,356t（5.0%）含まれていると推計されますので、さらなるごみ減量を推進するためには、次のような取り組みが必要です。

○生ごみの減量

燃やすごみには、未開封や賞味期限切れなどの未利用食品が2,513t、それ以外の生ごみが53,822t含まれています。未利用食品を半減し、水切りで生ごみの量を5%減らすだけで約4,000tの減量効果が期待できます。未開封や賞味期限切れが生じないような消費行動やごみの排出時の水切りなど、区民による取り組みを促進するため、ごみの発生を抑制する普及啓発活動が必要です。

○雑紙（ざつがみ）の分別の徹底

燃やすごみに含まれる資源物の大半は紙類で13,754t、そのうち、雑紙（ざつがみ）が7,132t、雑誌・本が3,194tです。新聞、段ボールなどはほとんどがリサイクルされていると考えられますが、雑紙（ざつがみ）はほとんどがごみとして捨てられていると考えられます。雑紙（ざつがみ）をリサイクルするための仕組みや普及啓発活動について検討する必要があります。

○容器包装プラスチックの分別の徹底と質の向上

燃やすごみには、容器包装プラスチック（きれいなもの）が1,436t、容器包装プラスチック（落とせる汚れ）が4,454t、合計で5,890t含まれています。一方、容器包装プラスチックの分別収集量は年々減少しており、平成26年度で

2,580tとなっています。少しの手間をかけるだけで資源として排出することができる容器包装プラスチックが分別収集量の約2.3倍も排出されていることになりますので、排出を促進する普及啓発活動が必要です。

○燃やさないごみからの金属回収

燃やさないごみには、小型家電が499t、その他金属が1,078t含まれています。これらは燃やさないごみの3割以上を占めますので、ピックアップ回収などによるごみ減量を検討する必要があります。

江戸川区家庭ごみ組成分析調査報告書

平成28年3月発行

江戸川区環境部清掃課
〒132-8501 江戸川区中央1-4-1
TEL 5662-8434(直)